



今年の『精神看護』の表紙は 齋藤陽道さんの写真でいきます。

〈齋藤さんからひとこと〉

齋藤陽道です。31歳です。♂です。ブラックコーヒーとなめたけと麺類が好きです。2015年の『精神看護』の表紙をやります。よろしくお願いします。

きっかけはというと、『新・幻聴妄想かるた』の冊子に使われる写真を撮るために世田谷区にあるハーモニーへ行っていました。そこで石川さんと出会いました。幻聴と妄想の世界は、精神を看護する世界と太い糸でつながっている！と、そんなふうに考えてみると、じわりと感慨深い思いが湧いてきます。その思いの

色は、オレンジです。

今回の仕事は石川さんから、特集に関連するキーワードをもらって、撮りおろしたり、昔の写真を掘り起こしていく、というやり方で進めています。例えば「出かける」「車」「新しい扉を叩く」「挑戦する」「人の家」「人の家に入る」などなど。どうなるのか想像がつかなくて楽しみね。

いま関心があるのは「共生の場」です。他人同士、凸凹をはめ合って助けて助けられての家を持ちたいという思いがあります。それは今の時

代の求めているものだとも思います。だから先駆者の例をいっぱい見て、ノウハウのようなものを書いてみたいと思うようになりました。

ひとと会うのは怖いことなのだけれど、閉ざしたところでひとり安らかに食べる焼きそばよりも、開けたところで色んなひとと騒々しくウンザリしつつ食べる白ごはんのほうがおいしいなあと、坂口恭平さんの勧めでゼロセンターで住み込み展示をしたあの時に強く思ってしまったから、ぼくは「共生の場」を持つ必要があるのです。



さいとうはるみち◎写真家。1983年9月3日 東京都生まれ。都立石神井ろう学校卒業。2007年「陽ノ道」として障害者プロレス団体「ドッグレッグス」所属。2009年「タイヤ」(写真新世紀佳作賞:飯沢耕太郎選)。2010年「同類」(写真新世紀優秀賞:佐内正史選)。2011年に写真集「感動」を赤々舎から出版。2014年はワタリウム美術館にて写真展「宝箱」を開催し、話題に。

HP : <http://www.saitoharumichi.com/>

twitter : <http://twitter.com/saitoharumichi>